

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

3GPP専門委員会

1/3

企画戦略委員

畑中 芳隆 (NTTドコモ)、渡辺 伸吾 (KDDI)

登録委員数

51名 17社

委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダー

委員長 横田 大輔 (ソフトバンク)、副委員長 傳賢 浩史 (NEC)

図解

活動の目的・意義

- 3GPPが策定した技術仕様書は、右記で図解した7つのOPが国内（地域）標準として制定して正式な標準としての効力を持つ。したがって、本専門委員会が、国内標準のTTC仕様書とするためのダウンストリーム作業を行い、3GPPパートナーの役割を遂行する。これにより、ITU-T参照標準に向けた土台を整えることができる。
- 3GPPの主にアーキテクチャ、コアネットワークに関するワークアイテム・スタディアアイテムと、技術仕様策定グループ（TSG）会合の状況を共有し、メンバー企業の標準化戦略策定、製品開発に資する。

3GPPは、7標準化団体のパートナーシッププログラムである。3GPPが作成する技術仕様及び技術レポートを、TTCを含むこれら標準化団体（パートナー）はダウンストリームして、その標準等の正式文書とする。またパートナーを通じて各企業は3GPPの作業に参加する。

活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

- 専門委員会活動は、F2F/ オンラインを活用して柔軟に運営中
- 3GPPでの6Gキックオフを受けて、3GPP専門委員会としての活動方針を策定

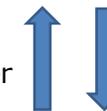
関連のSDGsゴール



標準化方針

- 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術を議論する。
- 3GPPで承認された仕様を、TTC仕様書として制定する。（ダウンストリーム活動）
- 年4回（6,9,12,3月）の専門委員会会合の開催、及び年4回（6,9,12,3月）の3GPP仕様書ダウンストリームを予定。
- 国内では、5G商用サービスが開始されており、5Gの特長である異業種との連携も含めた5Gサービスの普及を促進する。
- 他国内標準化組織との連携による移動通信標準化作業を促進する。具体的には、ARIB、CIAJなどとの連携やTTC内関連専門委員会との連携を図りつつ活動する。
- 海外の関連標準化組織（ITU-T/R, IEEE, IETF, BBF, GSMA等）との連携に配慮する。

- 運営・ガバナンス・財務管理等
- 所属する各Individual Memberが技術仕様策定に参画
- ダウンストリーム標準制定



国内外の標準化団体等の動向

3GPP

- 5G Advanced仕様を構成するRel-18仕様書セットが2024年3月に完成予定。
- 5G Advanced機能拡張仕様が含まれるRel-19仕様書セットの内容が2023年12月に確定し、2024年2月より、仕様策定に向けた議論が開始予定。
- 2024年度は、6Gに関するWorkshopが開催される見込み。（2024年5月、2025年3月）

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論。 3GPPで承認された仕様書を、年4回TTC仕様書として年4回制定。(ダウストリーム活動) 年4回の専門委員会会合の開催、3GPP仕様書ダウストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論。 5G主要アイテム (NWスライス、ローカル5G) の委員会内の勉強会成果を委員会外へ提示/紹介。 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及びB5Gに向けた標準化推進施策を検討する。 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2023年度目標(当初計画時)</p>	<p>2023年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>		<p>-</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>・3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#72, #73, #74, #75を開催</p>	<p>・3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#72, #73, #74, #75を開催した</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>			
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS/TR 4回(四半期毎) ITU-Rの勧告(M.2012, M.2150)改訂への対応</p>	<p>ダウストリーム制定 04月14日制定 (TS 210件、TR 3件) 07月07日制定 (TS 194件、TR 0件) 10月05日制定 (TS 181件、TR 2件) 01月12日制定 (TS 143件、TR 1件)</p> <p>ITU-R勧告の改定に際し4/14までの制定情報をITU-Rへ提供 M.2012-6: 192件 M.2150-2: 221件</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>・移動通信網マネージメント専門委員会と連携して 5G仕様の主要アイテムを深掘する勉強会の成果を外部に展開を検討予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2023/03/17日 3rd Japan 6G Technical & Standardization Workshopで活動紹介した 2023/07/03, 07/05 TTCセミナー「3GPP Rel-17 NW スライス ワークショップ」を開催した 2024/01/16 TTCセミナー「3GPP 5Gが社会・産業界に与えるインパクト ～ローカル5G, IIoT, NWスライス, 放送・通信融合, 非地上系ネットワーク (NTN) の使い方～」を開催 	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。</p>	<p>無し</p>	

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#76, #77, #78, #79を開催し、TSGでの主要課題等の動向を共有しつつ、技術議論する。 年4回、ダウンストリーム活動を実施する。3GPPで承認された仕様書をTTC仕様書として制定、3GPP専門委員会会合で承認する。 若手人材育成のために、5G主要アイテムや6G動向に関する勉強会やセミナー等を企画し実行していく。 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及び6Gに向けた標準化推進施策を検討する。 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2024年度目標(当初計画時)</p>	<p>2024年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>			
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) ・3GPP 6G workshop (2024年5月, 2025年3月)</p>		
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>			
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>		
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS/TR 4回(四半期毎)</p>		
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>・移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、2023年に標準化が完了したRel-18に関する勉強会またはTTCセミナーの開催を検討する。</p>		
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。</p>		